

平成 26 年度第 2 回
横浜市公共事業評価委員会
平成 26 年 12 月 25 日(木)
横 浜 市





【港湾－1】事前評価

大黒ふ頭岸壁等改良事業

(港湾局)

(様式2)

公共事業事前評価調書 (案)

事業概要	事業名	大黒ふ頭岸壁等改良事業
	場所 (所在地)	横浜市鶴見区大黒ふ頭内
	事業目的	<p>① 船舶の大型化に対応するため、岸壁を増深及び延伸します。</p> <p>② 完成自動車の荷捌き地を拡張します。</p>
	事業内容	<p>① 岸壁の増深(7.5、10m→11m)、延伸(1,110m→1,400m)</p> <p>② 荷捌き地の拡張(約26ha→約32ha)</p> <p style="text-align: center;"><大黒ふ頭位置図></p>  <p style="text-align: center;"><大黒ふ頭岸壁等改良事業整備イメージ></p>  <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">↓</div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p>  </div> </div> </div>

	事業 スケジュール	P3 から T3 までを平成 27 年度から平成 29 年度までに整備予定 ※T4 から T8 までは、平成 30 年度以降実施
	総事業費	約 50 億円 ※今後の精査により変更になる可能性があります。
	事業の 必要性	<p>完成自動車は横浜港の輸出の約3割を占める主力貨物で大黒ふ頭が拠点の一つとなっています。現状では、自動車専用船が着岸する岸壁や荷捌き地が慢性的に不足しており、ユーザーからも改善が求められています。また、今後世界的に自動車の需要は伸びると予測される(今後 20 年間で約 2 倍)ことや、輸送効率化のために船舶の大型化が進んでいることから、岸壁の増深、延伸及び荷捌き地の拡張が必要となっています。</p> <p>なお、横浜港港湾計画(平成 26 年 12 月改訂予定)においては、T3 からT8 と緑地を挟んで連続するP3、P4 岸壁を一体化するとともに、増深することとしています。</p>
	事業の効果	完成自動車の取扱い機能が強化されることから、取扱貨物量が増加します。これにより、雇用や消費が増加し市内経済が活性化するとともに、国際競争力のさらなる強化が期待されます。
	環境への配慮	本事業の施工に当たっては、必要な環境面への配慮を行ってまいります。
	地域の状況等	<p>大黒ふ頭は輸入貨物の増加や、コンテナ化等に対応するため、昭和 46 年から平成 2 年にかけて、鶴見区大黒町地先を埋立てた島式ふ頭です。ふ頭内には、50 棟を越える民間倉庫や、横浜港物流センターなどが建設されています。</p> <p>対象箇所については、主に乗用車、トラック、及び大型建設用機械等の完成自動車を取扱っています。</p>
	事業手法	国庫補助事業として実施する予定です。
	その他	なし
	添付資料	なし
	担当部署	港湾局企画調整部企画調整課 (TEL 671-7300)